

研修名：【推薦】看護管理者研修：師長補佐編 全3回
「コンピテンシーを基盤とした看護管理能力の開発」

受講種別	推薦研修
ねらい	<p>東邦看護の理念である「心によりそう看護」を具現化し質の高い安全な看護を提供するためには、複雑かつ多様な医療ニーズに対応できる看護職の育成や人事・労務環境の整備など多岐に渡るマネジメントが必要である。これに伴い、看護管理者の果たす役割は大きい。そのため、2022 年度より看護管理者研修のテーマを「コンピテンシーを基盤とした看護管理能力の開発」としている。</p> <p>本研修は、コンピテンシーの概念の全体像について学び、自発的に自身の能力開発に取り組める看護管理者を目指す。また、日々の看護管理実践におけるコンピテンシーの発揮状況を整理し、看護管理者が自身の強みや弱みを明確に認識することで、看護管理能力向上のための課題を見出す。同時に、3 病院の師長補佐が討議を通じて交流することで、相互理解を深めるとともに自身の看護管理能力を向上させる示唆を得る。</p>
目的	<p>看護管理実践についてコンピテンシーの枠組みを用いて振り返りを行い、コンピテンシーの発揮状況を認識することで、自身の能力開発に取り組むことができる。</p>
目標	<p>グループメンバーの事例を共有することで様々なコンピテンシーの発揮状況がわかり、コンピテンシーの理解を深めることができる。</p> <p>①コンピテンシーの枠組みを用いて、自身のコンピテンシーの発揮状況を認識することができる。</p> <p>②グループメンバーの事例を共有し、様々なコンピテンシーの発揮状況が理解できる。</p> <p>③管理能力向上のために、どのようなコンピテンシーの開発・強化が必要か考えることができる。</p>
実施日時	<p>基礎編 2026 年 9 月 14 日 (月) 13:00~17:00 (別シラバスあり)</p> <p>第 1 回 2026 年 10 月 21 日 (水) 9:30~17:00 (予定)</p> <p>第 2 回 2026 年 11 月 19 日 (木) 13:00~17:00 (予定)</p> <p>第 3 回 2027 年 1 月 27 日 (水) 13:00~17:00 (予定)</p>
方法	<p>各回 Zoom を使用したオンライン形式 (ビデオはオンでご参加ください)</p> <p>※推奨デバイス：PC</p> <p>※推奨インターネット環境：Wi-Fi または固定回線を使用し、個室環境が望ましい (参考：Zoom 使用時、約 600MB/1 時間データ容量消費)</p> <p>※タブレット、Wi-Fi モバイルルーターが必要な場合は、参加申し込み時にご相談ください。 (台数限定で貸与可能)</p> <p>※Zoom 接続や操作については、キャリア支援セクションの個別サポート可能です。希望される方は、お申し出ください。</p>

受講場所	<p>※自宅等での受講を推奨します。</p> <p>ただし、自宅等でデバイスおよびネット環境が用意できない場合は、以下の会場を使用できます。</p> <p>【第 1 回】</p> <p>大森病院の方：後日連絡 大橋病院の方：後日連絡 佐倉病院の方：後日連絡</p> <p>【第 2 回】</p> <p>大森病院の方：後日連絡 大橋病院の方：後日連絡 佐倉病院の方：後日連絡</p> <p>【第 3 回】</p> <p>大森病院の方：後日連絡 大橋病院の方：後日連絡 佐倉病院の方：後日連絡</p>
研修概要	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 講義（課題作成・提出） ▪ 討議・意見交換 ▪ 取り組み発表 など
講師/アドバイザー	<p>講義担当：</p> <p>久保孝 東邦大学医療センター大森病院 看護師長</p> <p>アドバイザー：</p> <p>芳澤正子 東邦大学医療センター大森病院 看護師長 鷺津あゆみ 東邦大学医療センター大橋病院 看護師長 高橋幸花 東邦大学医療センター佐倉病院 副看護部長</p>
対象	東邦大学所属の看護師長補佐（上司から推薦を受けた方）
募集人数	9 名程度（目安：大森 3 大橋 3 佐倉 3）
受講費	<p>6,000 円</p> <p>※ 公費受講のため、受講生による受講費支払いはありません。</p> <p>※ 受講決定メールが届いた時点から、給与天引きの準備が始まります。いかなる理由でも受講費は徴収されますのでご了承ください。</p>
申し込み期間	<p>2026 年 4 月 13 日（月）～2026 年 4 月 20 日（月）</p> <p>講座管理システム申し込み締め切り 2026 年 4 月 20 日（月） 12：00</p>
申し込み方法	<p>東邦大学看護企画室キャリア支援セクション講座管理システムよりお申し込みください。</p> <p>※受講者本人による申し込みが必要です https://kk.nurs.toho-u.ac.jp/kk/kklogin.php</p> <p>※上司からの推薦文が必要です。受講生が申し込み時に入力してください。</p>

<p>タイム スケジュール</p>	<p>【1回目】 ※タイムスケジュールは変更する可能性があります。 9:00～ 9:15 Zoom 入室 9:15～ 9:25 オリエンテーション 9:25～12:00 コンピテンシーの講義 ※途中、休憩を含む 12:00～13:00 昼食 13:00～17:00 グループ討議・まとめ</p> <p>【2回目】 12:45～13:00 Zoom 入室 13:00～13:10 オリエンテーション 13:10～17:00 グループ討議・まとめ ※途中、休憩を含む</p> <p>【3回目】 ※タイムスケジュールは変更する可能性があります。 12:45～13:00 Zoom 入室 13:00～13:10 オリエンテーション 13:10～17:00 プレゼンテーション・まとめ ※途中、休憩を含む</p>
<p>事前準備</p>	<p>【第1回までの事前課題】 提出期限：2026年10月6日（火）9:00 提出場所：看護企画室キャリア支援セッション講座管理システム ※法人・所属病院・所属看護部の理念や方針、師長の職務規定（業務指針等）等を確認して ご参加ください。</p> <p>1. 課題作成・提出 ※所定のワークシートあり</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ コンピテンシーとはなにか(基礎編) -コンピテンシーの概念と構造-での学びを参考に、 自身がコンピテンシーを発揮したと考える過去事例をコンピテンシーごとに整理して、ワ ークシートを提出してください。 <p>【第2回までの事前（中間）課題】 提出期限：2026年11月10日（火）9:00 提出場所：看護企画室キャリア支援セッション講座管理システム</p> <p>1. 課題作成・提出</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 第1回での討議を踏まえ、追加・修正を加えたワークシートを提出してください。 <p>【第3回最終課題】 提出期限：2027年1月15日（金）9:00 提出場所：看護企画室キャリア支援セッション講座管理システム</p> <p>1. プレゼンテーション資料作成・提出</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 過去事例のコンピテンシーの発揮状況を整理し、自身の管理能力向上のためにどのような コンピテンシーの開発・強化が必要か（自身の強みは伸ばす、弱みは克服する）、事例を基 にスライドにまとめて提出してください。 <p>仮）テーマ「自身の管理能力向上のために、どのようなコンピテンシーの開発・強化（自身 の強みは伸ばす、弱みは克服する）が必要か」</p> <p>※提出可能な課題ファイルのサイズは、約2MB までです。 ※プログラムを作成しますので、パワーポイントにフッターを入れないでください。</p>

<p>推薦・参考 図書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 「コンピテンシー・マネジメントの展開（完訳版）」ライル M スペンサー&シグネ M スペンサー著，梅津祐良ら訳，生産性出版，第 4 版，2018 ▪ 「コンピテンシー・マネジメントの展開（導入・構築・活用）」ライル M スペンサー&シグネ M スペンサー著，梅津祐良ら訳，生産性出版，第 2 版，2003 ▪ 東京大学医学部附属病院看護部，東京大学医科学研究所病院看護部著，武村雪絵編「看護管理に活かすコンピテンシー」，メジカルフレンド社，2014， ▪ 虎ノ門病院看護部編「看護管理者のコンピテンシー・モデル」，医学書院，2013
<p>特記事項</p>	<p>※提出していただくワークシートは、討議時の資料としてメンバーに配布します。プライバシーの処理や資料の保管処理については、適切な取り扱いをお願いします。</p> <p>※研修内で得た個人に関する情報などは、他言しないようご注意ください。</p> <p>※受講登録者以外への動画視聴・閲覧共有は固くお断りいたします。また、講義内容、テキスト、画像等の無断使用、無断転載についても禁じます。</p>
<p>開講責任者</p>	<p>東邦大学法人本部看護企画室キャリア支援セクション：徳留彰子</p>
<p>連絡先</p>	<p>電話：03-3762-9890（直通）03-5763-6529（看護企画室）内線：5383（直）/2162（看）</p> <p>メールアドレス：career@jim.toho-u.ac.jp</p>